

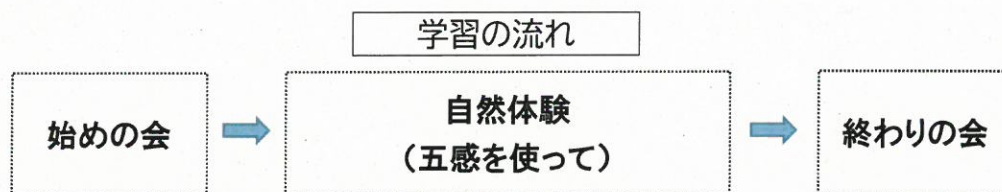
## 集団宿泊学習の改善に向けた提言と

## 令和3年度の集団宿泊学習の実施状況 添付資料

別紙 1	.....	1 ページ
別紙 2	.....	3
別紙 3	.....	7
別紙 4	.....	15
別紙 5	.....	20
別紙 6	.....	31
別紙 7	.....	36
別紙 8	.....	42
別紙 9	.....	48
別紙 10	.....	49

## (1) 野外体験学習(自然体験)の実践

「植物の特徴を観察させて、生きるための工夫や人間とのかかわりに気づかせる体験学習」として、児童生徒の志向の流れを意識した学習を行っている。



## 【活動例】

## ① 始めの会

始めの会では、自然散策の仕方や危険な動植物の説明をしている。

今日は、五感（視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚）を使って自然を体験してもらいます。自然の中で、たくさんの不思議を発見してください。

自然の中には、危険な動植物もあります。もし、出会っても対処法を守れば刺されたり襲われたりしません。落ち着いて行動しましょう。

自然の中は、たくさんの生物が住んでいます。みんなも自分の家に知らない人が入ってきて、騒いでいたらびっくりしたり怖いと感じたりすると思います。生き物たちも同じです。自然の中に入るときは、そこに住んでいる生き物たちを驚かさないようにしましょう。

## ② 自然体験

五感を使って自然体験をする際、始めから終わりまでの流れを意識して植物同士を関連付けたり人との関りを考えたりして、より深い学びにつながるような指導をしている。

（ヤブニッケイの葉の匂いを嗅いで）虫から身を守るために、ヤブニッケイは匂いをもっています。人はこの葉をタンスなどに入れて、虫よけとして利用しています。

（サンショウの葉の匂いを嗅いで）この匂いも、虫から身を守るためです。人もまた、サンショウの葉を魚の下などにひいて、虫が寄ってこないようにしています。

（ニガキを味わって）苦い味をもっているのは、虫から身を守るための方法で、虫が嫌う味をもっている植物もあります。また、ニガキは漢方にもなり、実際、胃腸薬に使われています。

### ③ 終わりの会

終わりの会では、自然体験の振り返りとして、生徒に気づいたことや不思議に思ったことなどを発表してもらっている。生徒からは、

植物が天敵から身を守るために匂いや味をもっていることが分かった。また、それを人は利用していることも分かった。

人にとって植物はとても大切だということが分かり、これから自然を大切にしていきたいと感じた。

など、「面白かった」「自然の素晴らしさを感じた」という意見だけではなく、より具体的な感想を多く聞くことができた。改善検討前の指導と比べても、思考の流れを意識して学習をすることで、より具体的で深い学びにつながっている。

# 五色台の見どころ

【ページ内リンク】 [バックナンバー](#) ([植物](#) [動物](#) [海の生き物](#) [その他](#))

職員がセンター内外で見つけた四季折々の草花や樹木、昆虫や鳥など、五色台の豊かな自然の見どころを不定期に紹介しています。五色台に来ていただき、ご自身で観察したり、撮影したりしませんか。

## 2021年夏～

- [見たい知りたい五色台（夏秋号）（PDF：872KB）](#)
- [ユキノシタ（PDF：173KB）](#)
- [ベニホタル（PDF：210KB）](#)
- [コクワガタ（PDF：204KB）](#)
- [シオカラトンボ（PDF：206KB）](#)
- [チビクワガタ（PDF：166KB）](#)
- [シマヘビ（PDF：199KB）](#)
- [ニラ（PDF：205KB）](#)
- [ヤマナメクジ（PDF：208KB）](#)
- [ムクゲ（PDF：209KB）](#)
- [ゲンノショウコ（PDF：168KB）](#)
- [ヒガンバナ（PDF：334KB）](#)
- [タカサゴユリ（PDF：254KB）](#)
- [ガマ（PDF：173KB）](#)
- [ソシンロウバイ（PDF：156KB）](#)

## バックナンバー

動植物の種類と季節ごとに区分しておりますので、興味のある項目をクリックしてご覧ください。

## 植物

分類	春 (3~5月)	夏 (6~8月)	秋 (9~11月)	冬 (12~2月)	通年
草花	<p><u><a href="#">アケビの花 (PD F: 160KB)</a></u>                      (江戸時代には高級品だった)</p> <p><u><a href="#">ナガバモミジイチゴ (PDF: 295KB)</a></u>                      (モミジのようなイチゴ?)</p> <p><u><a href="#">オドリコソウ (PDF: 138KB)</a></u>                      (笠をかぶった踊り子に見える花)</p> <p><u><a href="#">ガズミ (PDF: 156KB)</a></u>                      (甘酸っぱい実には美肌効果も!)</p>	<p><u><a href="#">クサイチゴ (PD F: 179KB)</a></u>                      (花言葉は「幸福な家庭」)</p> <p><u><a href="#">ムクゲ (PDF: 230KB)</a></u>                      (生薬にも使われる)</p> <p><u><a href="#">ヘクソカズラ (PDF: 206KB)</a></u> (可愛い花には悪臭がある!)</p>	<p><u><a href="#">ヤマノイモのむかご (PD F: 259KB)</a></u>                      (葉がハート型で、食べられるイモ)</p> <p><u><a href="#">サザンカ (PDF: 196KB)</a></u>                      (山茶花の名前の由来は?)</p> <p><u><a href="#">ツリガネニンジン (PDF: 292KB)</a></u>                      (ニンジンなのに野菜じゃないの?)</p>	<p><u><a href="#">マンリョウ (PD F: 99KB)</a></u> (真っ赤な実で、正月飾りに使用)</p> <p><u><a href="#">ウラジロ (PDF: 63KB)</a></u>                      (徳川家康は兜(かぶと)の前立てに!)</p>	
樹木	<p><u><a href="#">ソメイヨシノの果実 (PDF: 94KB)</a></u> (桜の木に果実が?)</p> <p><u><a href="#">ミツマタ (PDF: 225KB)</a></u>                      (柿本人麻呂に詠まれた幸福の花?)</p>	<p><u><a href="#">ハコネウツギ (PDF: 96KB)</a></u>                      (1本の木や枝に2色の花が咲く!)</p> <p><u><a href="#">栗の花 (PDF: 132KB)</a></u>                      (栗の花はどんな花?)</p>	<p><u><a href="#">メタセコイア (PDF: 189KB)</a></u>                      (生きて化石?)</p> <p><u><a href="#">ソメイヨシノの紅葉 (PDF: 353KB)</a></u></p>	<p><u><a href="#">センダン (PDF: 275KB)</a></u>                      (国の天然記念物「琴平町の大センダン」)</p> <p><u><a href="#">マサキの実 (PDF: 150KB)</a></u>                      (赤い実を鳥に食べてもらい、遠く</p>	





2021. 9. 19 五色台少年自然センターで撮影

## タカサゴユリ（高砂百合）

（ユリ科ユリ属）

毎日のように歩く道端に去年は咲いていなかったラッパ状の大きな花を見つけました。この花は台湾が原産で、日本へ1924年に観賞用として入ってきました。繁殖力<sup>はんしょくりよく</sup>がとても強く、1つの花から約1000個の種を風に乗せて飛ばして野生化し、今では、ほぼ日本全国で見られるようになりました。種が球根に育つまで約2年かかり、その間、花は咲きません。また、強い繁殖力<sup>はんしょくりよく</sup>の一方で連作障害<sup>れんさくしょうがい</sup>には弱く、同じ場所で咲き続けると細菌が発生して枯れてしまいます。あちこちで咲いては枯れるその様子から「旅する花」とも呼ばれます。出口の見えないコロナ禍<sup>か</sup>ですが、この花のようにそろそろ旅に出かけたいですね。





# 根香寺ってどんなお寺？

根香寺の正式な名前は、\_\_\_\_\_山 <sup>せんじゅいん</sup> 千手院 \_\_\_\_\_寺で、ここは四国八十八カ所第\_\_\_\_\_番札所である。

寺伝によると、弘仁年間(810~824年)に①\_\_\_\_\_大師(善通寺市生まれ)が創建した花蔵院と、832年(天長9年)に②\_\_\_\_\_大師(善通寺市生まれ)が創建した千手院を合わせたのが根香寺であるとされている。

①\_\_\_\_\_大師の刻まれた<sup>せんじゅかんのん</sup>千手観音の木はとても香りがよく、その木の根が長く香気を放ったということから\_\_\_\_\_寺と名づけられたといわれている。

お寺には「山号 院号 寺号」があるんだよ。



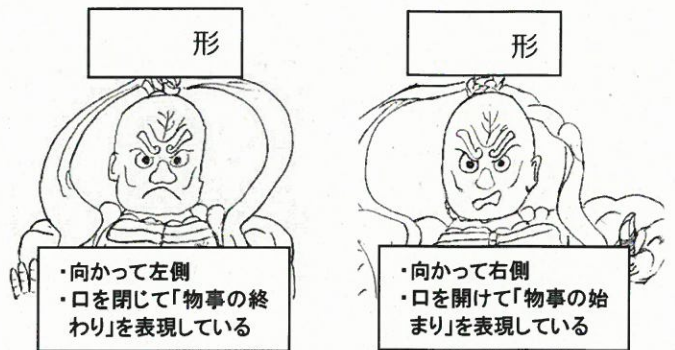
## 1 牛鬼伝説

天正年間(1573~1591)に、根香(青峰)山に\_\_\_\_\_という怪物がおり、<sup>しもかさい</sup>下笠居付近であばれまわっていた。それを聞きつけた城主の命令で弓の名人である<sup>やまだくらんどたかきよ</sup>山田蔵人高濑が派遣された。高濑は山中を探し回ったが、牛鬼には出会えなかった。そこで、根香寺の本尊、<sup>せんじゅかんのんぼさつ がん</sup>千手観音菩薩に願かけをした。そして、21日目にととう高濑の前に牛鬼が現れた。高濑はすぐさま弓を放ち、見事牛鬼を退治した。高濑は牛鬼の角を切り落とし、それを根香寺に<sup>ほうのう</sup>奉納した。

## 2 お寺を守る仁王像

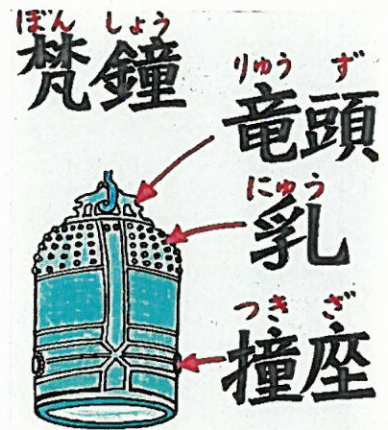
根香寺の山門には、仁王像が安置されている。仁王像は、山門をくぐって寺に入ってくる人をにらみつけ、寺を守る役割をしている。

- どちらの仁王像が阿形、吽形だろう。



## 3 お寺の鐘の意味

お寺の鐘を<sup>ほんしやう</sup>梵鐘と呼ぶ。本来は、「僧を集める」「時刻を知らせる」ために撞いていた。現在は、参拝の\_\_\_\_\_をする意味(家のインターホンの役目)として撞いている。



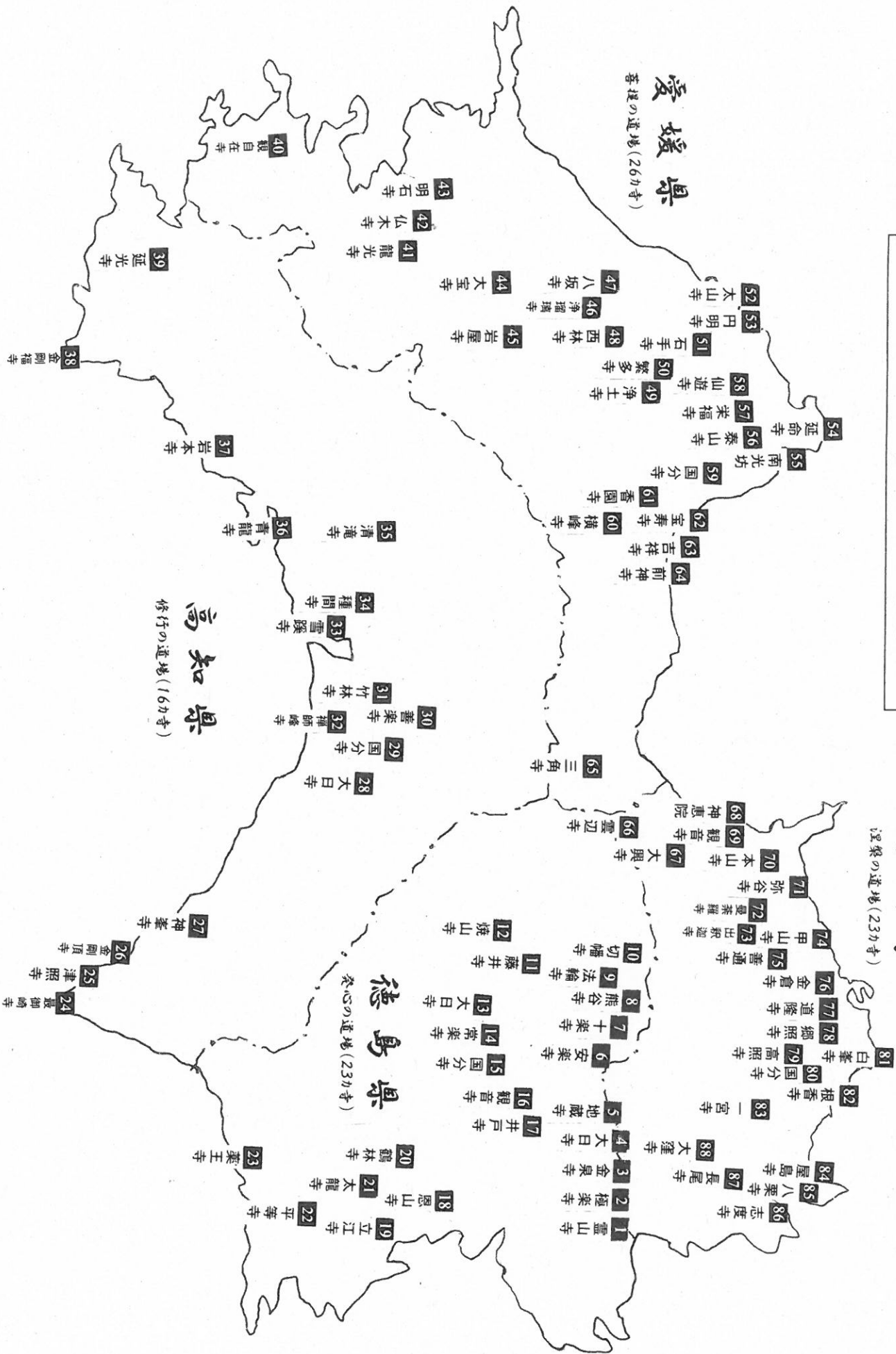
- ※ やってはいけない撞き方
- 早鐘...<sup>はやがね</sup>ゴーンゴーンと連続で撞くこと。
  - 出鐘...<sup>でがね</sup>参拝が終わってから撞くこと。

## 4 納札について

納札とは、住所や氏名、願い事などを記入して、<sup>ふだしよ</sup>札所(お寺)で<sup>ほんどう</sup>本堂と<sup>だいしどう</sup>大師堂に納める紙の札のこと。納札の色は四国八十八カ所をまわった回数によって異なり、一般的に 1~4 回目が白、5・6回目が緑、7回目から赤、25回目から銀、50回目から金、100回目以上で<sup>にしき</sup>錦と色分けされている。お遍路さんは「納札」を持ち、札所をまわっている。



# 四国八十八札所の絵図



# 根香寺ってどんなお寺？

お寺には  
「山号 院号 寺号」  
があるんだよ。



根香寺の正式な名前は、\_\_\_\_山 \_\_\_\_院 根香寺で、ここは四国八十八カ所第 \_\_\_\_番札所である。

寺伝によると、平安時代に②\_\_\_\_大師（善通寺市生まれ）と①\_\_\_\_大師（善通寺市生まれ）によって建立された。①\_\_\_\_大師の刻まれた干手観音の木はとても香りがよく、その木の根が長く香気を放ったということから根香寺と名づけられたといわれている。

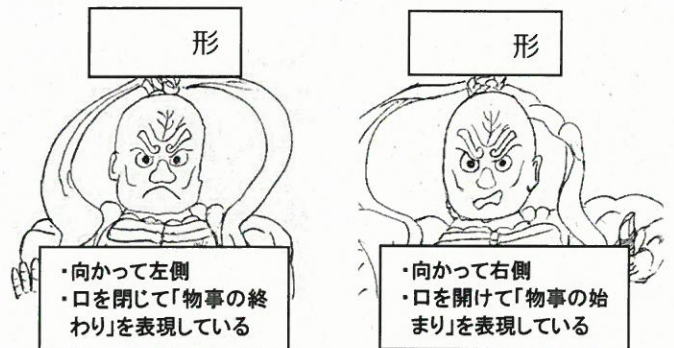
## 1 牛鬼伝説

天正年間（1573～1591）に、根香（青峰）山に\_\_\_\_という怪物がおり、下笠居付近であばれまわっていた。怪物退治を命じられた弓の名人である山田蔵人<sup>やまだくらんどたかきよ</sup>は、山中を探し回ったが、牛鬼には出会えなかった。そこで、根香寺の本尊、干手観音菩薩<sup>せんじゆかんのんぼさつ がん</sup>に願かけをした。21日目にとうとう<sup>ほうのう</sup>高清の前に牛鬼が現れ、高清は見事牛鬼を退治した。高清は牛鬼の角を切り落とし、それを根香寺に奉納した。

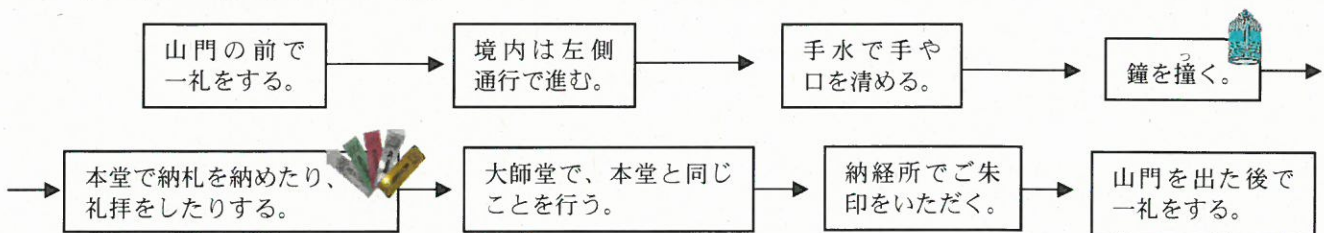
## 2 お寺を守る仁王像

根香寺の山門には、仁王像が安置されている。仁王像は、山門をくぐって寺に入ってくる人を探らみつけ、寺を守る役割をしている。

- どちらの仁王像が阿形、吽形だろう。



## 3 お寺の参拝の仕方



※やってはいけない鐘の撞き方

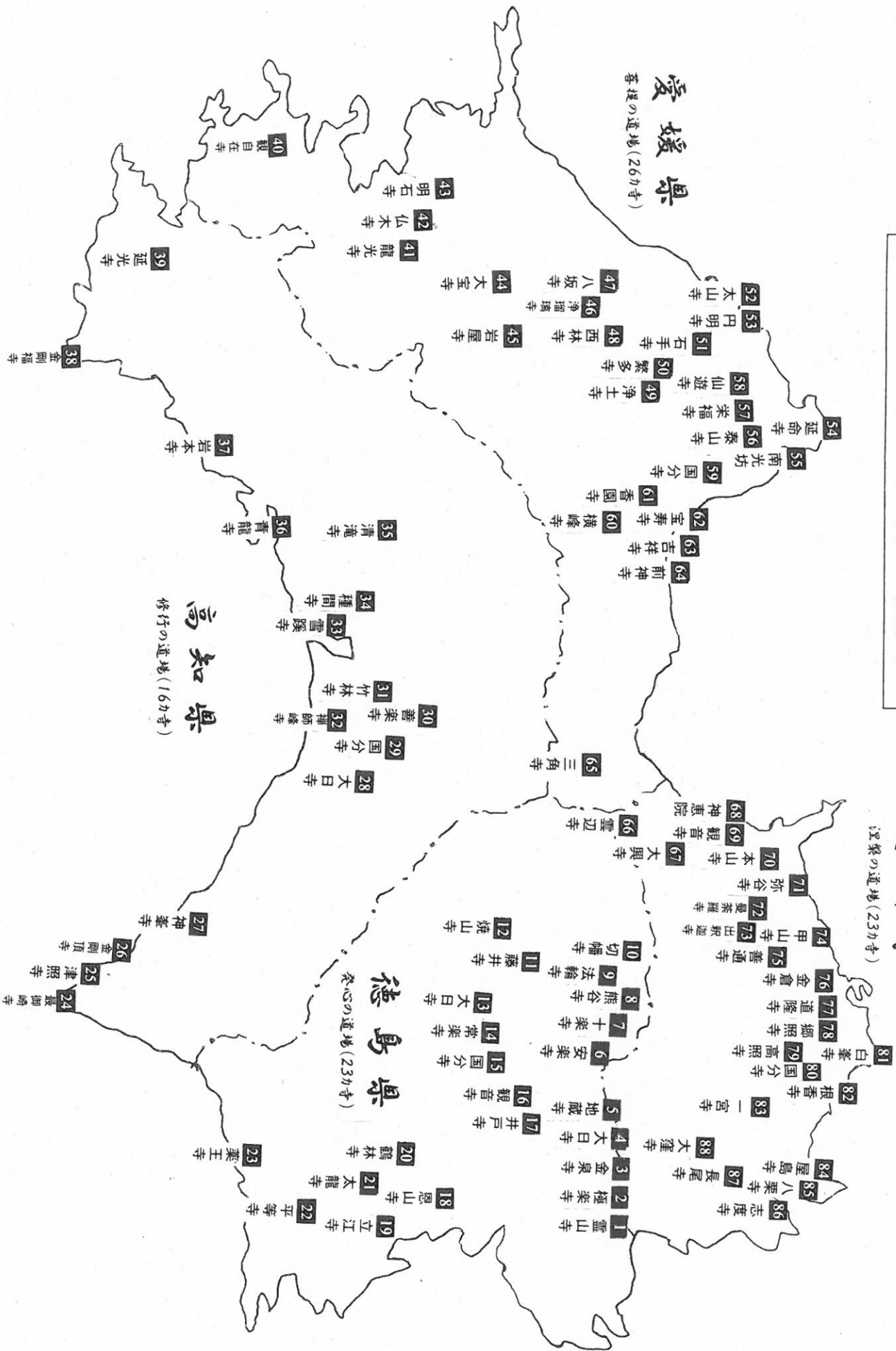
早鐘…ゴーンゴーンと連続で撞くこと。

出鐘…参拝が終わってから撞くこと。

## 4 納札について

納札とは、住所や氏名、願い事などを記入して、札所（お寺）で本堂と大師堂に納める紙の札のこと。納札の色は四国八十八カ所をまわった回数によって異なり、一般的に 1～4 回目が白、5・6回目が緑、7回目から赤、25回目から銀、50回目から金、100回目以上で錦と色分けされている。お遍路さんは「納札」を持ち、札所をまわっている。

# 四国八十八札所の絵図





# 白峯寺ってどんなお寺？

白峯寺の正式な名前は、\_\_\_\_山 洞林院 \_\_\_\_寺で、ここは四国八十八カ所の第\_\_\_\_番札所である。

寺伝によると、\_\_\_\_時代に、㊶\_\_\_\_大師と㊷\_\_\_\_大師(ともに善通寺市生まれ)が開いたとされている。

- ㊶\_\_\_\_大師は、<sup>あかい</sup>閼伽井を掘り、<sup>ほうすい</sup>法水がいつまでも清らかであるように工夫された。
- ㊷\_\_\_\_大師は、<sup>れいぼく</sup>霊木を海から山中に引き上げて10体の観音像を彫り、その1体を当院の本尊にした。これとは別だが、根香寺の<sup>せんじゆかんのんぞう</sup>干手観音像も智証大師が彫ったものである。



## 1 お寺の鐘の意味

お寺の鐘を<sup>ほんしやう</sup>梵鐘と呼ぶ。本来は、「僧を集める」「時刻を知らせる」ために撞<sup>つ</sup>いていた。現在は、参拝の\_\_\_\_をする意味(家のインターホンの役目)として撞いている。



- ※ やってはいけない撞き方
- <sup>はやがね</sup>早鐘…ゴーンゴーンと連続で撞くこと。
- <sup>でかね</sup>出鐘…参拝が終わってから撞くこと。

## 2 納札について

納札とは、住所や氏名、願い事などを記入して、<sup>ふだしょ</sup>札所(お寺)で<sup>ほんどう</sup>本堂と<sup>だいしどう</sup>大師堂に納める紙の札のこと。納札の色は四国八十八カ所をまわった回数によって異なり、一般的に 1~4 回目が白、5 回目から緑、8 回目から赤、25 回目から銀、50 回目から金、100 回目以上で<sup>にしき</sup>錦と色分けされている。お遍路さんは「納札」を持ち、札所をまわっている。

## 3 白峯寺の中にあるお寺「頓証寺」とは

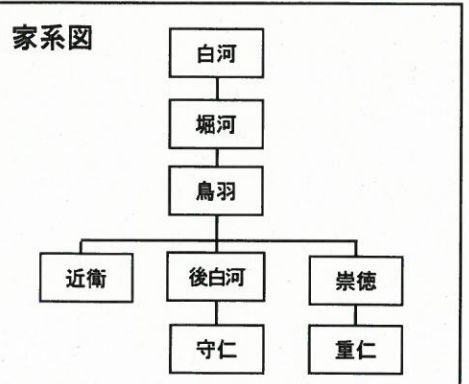
<sup>ほうげん</sup>保元元年(1156)皇位継<sup>こういけいしやう</sup>承問題や<sup>せつしやう</sup>摂政・<sup>かんぱく</sup>関白の地位をめぐつて京都で\_\_\_\_の乱が起きた。この乱は、親子、兄弟が敵味方に分かれての戦いであった。この戦いで敗れた\_\_\_\_上皇は、<sup>さぬきのくに</sup>讃岐国に流された。

崇徳上皇は讃岐在住9年、京都に<sup>うら</sup>怨みを抱きながら、46歳で亡くなった。遺体は白峯寺の北西、<sup>ちごがだけ</sup>稚児ヶ嶽で<sup>かそう</sup>火葬され、<sup>しろみね</sup>白峯御陵がつくられた。

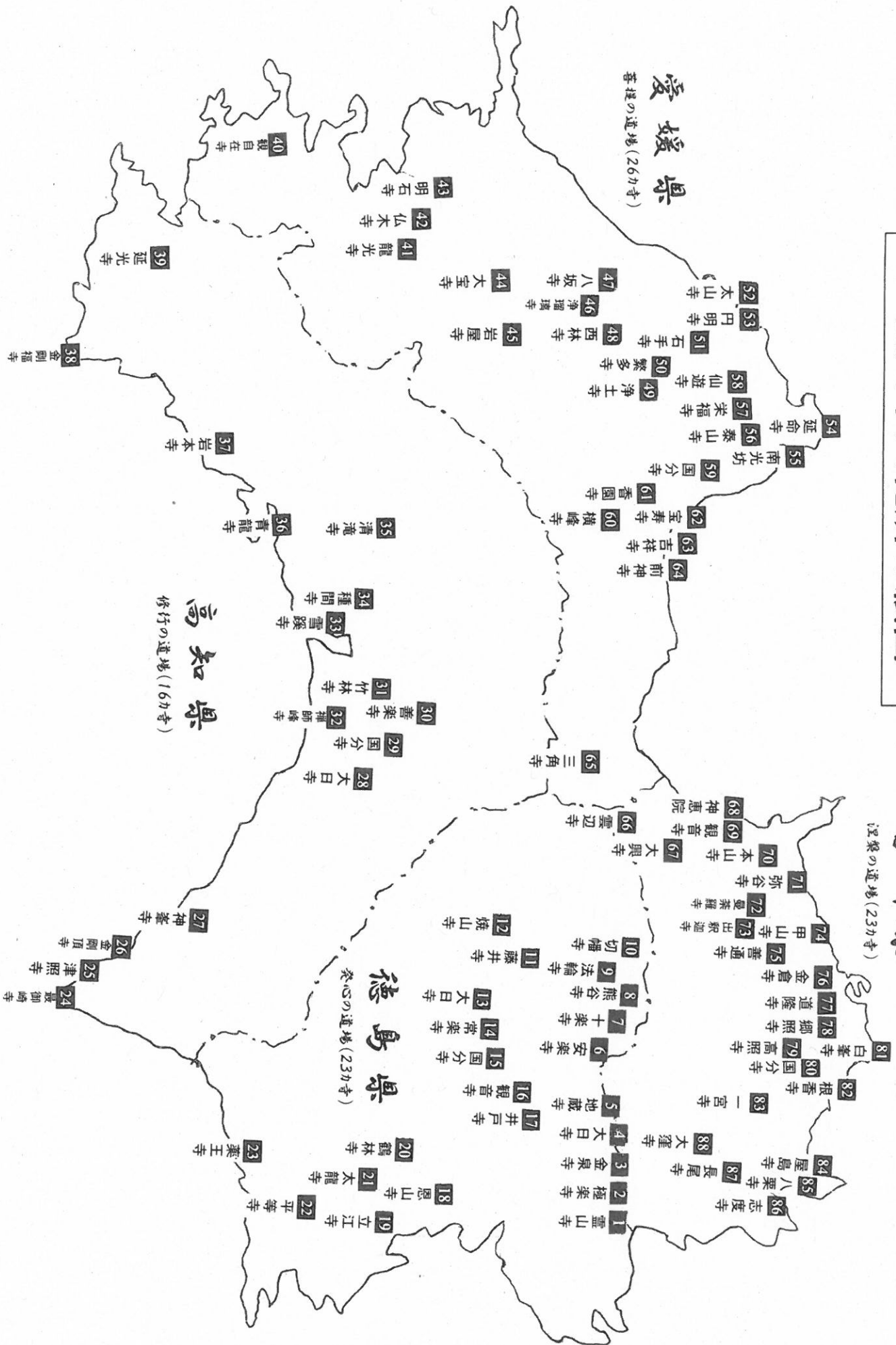
崇徳上皇の死後、平治の乱で源義朝が死亡、後白河天皇が病気になる。後白河天皇は、自分が病気になったのは崇徳上皇の<sup>たた</sup>祟りだと考えて、これをおさめるために白峯御陵の前に\_\_\_\_を建てた。

保元の乱

天皇方	上皇方
後白河天皇(弟)	崇徳上皇(兄)
藤原忠通(兄)	藤原頼長(弟)
源義朝(兄)	源為義(父)・為朝(弟)
平清盛(おい)	平忠正(おじ)



# 四国八十八札所の絵図





# 白峯寺ってどんなお寺？

白峯寺の正式な名前は、\_\_\_\_山 \_\_\_\_院 白峯寺で、ここは四国八十八カ所の第\_\_\_\_番札所である。

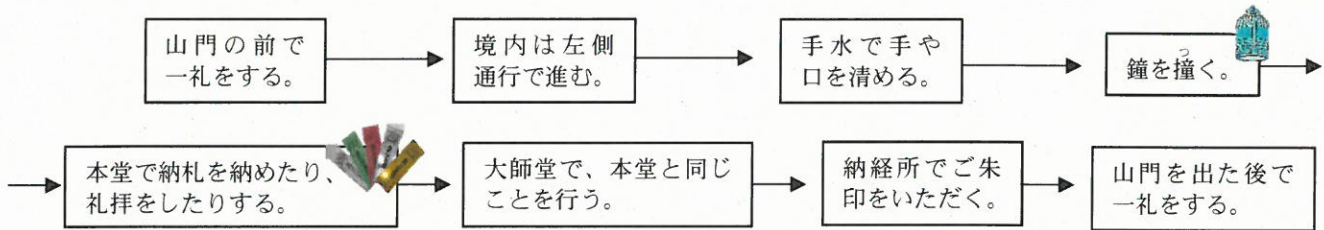
寺伝によると、\_\_\_\_時代に、①\_\_\_\_大師と②\_\_\_\_大師(ともに善通寺市生まれ)が開いたとされている。

①\_\_\_\_大師は、<sup>あかい</sup>閼伽井を掘り、<sup>しんぶつ</sup>神仏に<sup>ささ</sup>捧げる水がいつまでも枯れないようにご<sup>じん</sup>尽<sup>りよく</sup>力されました。

本尊として、①\_\_\_\_大師が彫ったといわれている<sup>せんじゅかんのんぞう</sup>千手観音像が安置されている。



## 1 お寺の参拝の仕方



※やってはいけない鐘の撞き方  
早鐘…<sup>はやがね</sup>ゴーンゴーンと連続で撞くこと。

出鐘…<sup>でかね</sup>参拝が終わってから撞くこと。

## 2 納札について

納札とは、住所や氏名、願い事などを記入して、<sup>ふだしょ</sup>札所(お寺)で<sup>ほんどう</sup>本堂と<sup>だいしどう</sup>大師堂に納める紙の札のこと。納札の色は四国八十八カ所をまわった回数によって異なり、一般的に 1~4 回目が白、5・6 回目から緑、7 回目から赤、25 回目から銀、50 回目から金、100 回目以上で<sup>にしき</sup>錦と色分けされている。お遍路さんは「納札」を持ち、札所をまわっている。

## 3 白峯寺の中にあるお寺「頓証寺」とは

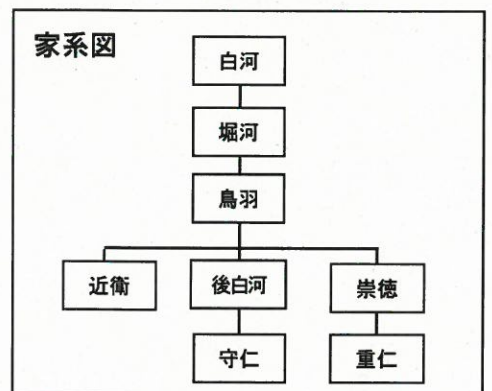
<sup>ほうげん</sup>保元元年(1156)皇位継<sup>こういけいしやう</sup>承<sup>せつしやう</sup>問題<sup>かんぱく</sup>や摂政・関白の地位をめぐって京都で\_\_\_\_の乱が起きた。この乱は、親子、兄弟が敵味方に分かれての戦いであった。この戦いで敗れた\_\_\_\_上皇は、<sup>さぬきのくに</sup>讃岐国に流された。

崇徳上皇は讃岐在住9年、京都に<sup>うら</sup>怨みを抱きながら、46 歳で亡くなった。遺体は白峯寺の北西、<sup>ちこがだけ</sup>稚児ヶ嶽<sup>かそう</sup>で火葬され、<sup>しらみね</sup>白峯御陵がつくられた。

崇徳上皇の死後、平治の乱で源義朝が死亡、平清盛が実権をにぎり武士の時代となるも、壇ノ浦の戦いで清盛は病死し、平氏は滅亡する。その後、後白河天皇も病気になる。後白河天皇は、自分が病気になったのは崇徳上皇の<sup>ただ</sup>祟りだと考えて、これをおさめるために白峯御陵の前に\_\_\_\_を建てた。

保元の乱

天皇方	上皇方
後白河天皇(弟)	崇徳上皇(兄)
藤原忠通(兄)	藤原頼長(弟)
源義朝(兄)	源為義(父)・為朝(弟)
平清盛(おい)	平忠正(おじ)





# 四国八十八札所の絵図

